ワンツースリー
One23
Vol.28
2017 SPRING
東京23区が見える。わかる。
公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

物語の舞台となった23区

■クマなくさんぽ…あらゆる世代に向けた新発想の複合施設『ゆいの森あらかわ』開館!

■とくべつクマ特別調査　23区の1(ワン)・2(ツー)・3(スリー)…23区の出版業事業所数ランキング

■所蔵資料蔵出し… 制度改革をめざす2,000人の集い

■これ、なんの数字?? … 50.6%

■「特別区全国連携プロジェクト賛同自治体PR展示」を開催しました

Question

出版業事業所数が一番多い区はどこでしょう?

答えは中面に!

とくべつクマ®

物語の舞台となった23区

セーラームーンの聖地「麻布十番商店街とその周辺」

作者の竹内直子さんが漫画連載当時、この辺りに住んでいたため、さまざまな場所が漫画やアニメに登場しています。

所 港区麻布十番
問 区長室広報係　03-3578-2036

港区

一大ブームとなったNHK朝ドラ「あまちゃん」東京編の舞台は「上野・アメ横」!

ヒロイン・アキが、上野のアメ横を拠点としたアイドルグループで奮闘する姿が描かれます。

所 台東区上野4-7-8 ほか
問 観光課フィルム・コミッション担当
03-5246-1434

台東区

歌舞伎「暗闇の丑松(うしまつ)」の舞台　板橋

丑松とお米の出会い、そして別れの場となったのが江戸四宿のひとつ『板橋』。区内で唯一、歌舞伎の舞台となっています。

所 板橋区仲宿49・50／本町28・29
問 広聴広報課　03-3579-2025

板橋区

さんまは目黒に限る! ～茶屋坂～

落語「目黒のさんま」の舞台となった茶屋がこの近くにあったことが「茶屋坂」の由来です。

所 目黒区三田2-11付近
問 広報課　03-5722-9621

目黒区

荻窪会談が開かれた国指定史跡「荻外荘(てきがいそう)」

総理大臣を3度務めた近衛文麿の旧邸宅で、戦前の政治史に残る重要な会議が開かれました。

所 杉並区荻窪2-43
問 広報課　03-3312-2111

杉並区

昭和29年公開の映画「ゴジラ」でゴジラが最初に東京上陸した地

京浜急行電車を横転させ都心へ向かうゴジラ。八ツ山橋近くにある地元の旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会作成の地図には「ゴジラ上陸の地」と書かれています。

所 品川区北品川1−3
問 広報広聴課　03-5742-6643

品川区

寅さんの旅立ちはここから「柴又駅」

映画「男はつらいよ」の舞台、柴又にある駅です。駅前にはフーテンの寅像があり、平成29年3月25日には寅さんの妹さくらの銅像が完成。

所 葛飾区柴又4-8-14
問 観光課　03-3838-5573

葛飾区

朝ドラ「とと姉ちゃん」の舞台 深川・木場

NHK連続テレビ小説で放送された「とと姉ちゃん」で、深川の材木問屋が舞台の1つとなっています。

所 木場公園周辺(元・貯木場)
問 広報広聴課　03-3647-2299

江東区

児童文学『ルドルフとイッパイアッテナ』主人公ルドルフの住み家「上小岩天祖神社」

昨年映画化もされた本作は、原作者・斉藤洋さんの出身地である北小岩の風景が描かれています。

所 江戸川区北小岩6-39-22
問 広報課編集係　03-5662-0403

江戸川区

アニメ「四月は君の嘘」の舞台となった練馬

練馬文化センターは、アニメ「四月は君の嘘」に登場する藤和ホールのモデルとなっています。

所 練馬区練馬1-17-37
問 商工観光課アニメ産業振興係
03-5984-1276

練馬区

アニメに も なった、池袋が舞台のライトノベル「デュララ!!」

アニメのオープニングに登場するト音記号のオブジェには、ファンが聖地巡礼に訪れています!

所 豊島区東池袋1-15(サンシャイン通り)
問 広報課報道グループ　03-4566-2533

豊島区

「冷静と情熱のあいだ」の舞台 羽根木公園

映画にもなったコラボレーション小説の主人公が大学時代に暮らしていた街の風景に羽根木公園が描かれています。

所 世田谷区代田4-38-52
問 北沢公園管理事務所　03-5431-1822

世田谷区

夏目坂～「硝子戸の中」でも描かれる文豪・夏目漱石ゆかりの坂

漱石の生家近くにあり、父が自らの姓を付けたとされる坂。作品では明治初期の周辺のまちの様子が描かれています。

所 新宿区喜久井町
問 区政情報課　03-5273-4064

新宿区

金八先生も歩いた「荒川土手」

金八先生のオープニングシーンでも有名な荒川土手。さまざまなドラマや漫画などに登場しています。

所 足立区千住、日ノ出町周辺の土手
問 シティプロモーション課
03-3880-5803

足立区

マンガ「夕凪の街 桜の国」で登場した野方配水塔

「この世界の片隅に」で話題のこうの史代さんの作品。主人公の暮らす街の風景に野方配水塔が描かれています。

所 中野区江古田1-3
問 広報分野　03-3228-8804

中野区

ゴジラを迎撃!! ～多摩川浅間神社展望台～

昨年大ヒットした映画「シン・ゴジラ」で、ゴジラを迎撃する作戦の舞台となった場所です。

所 大田区田園調布1-55-12
問 観光課　03-5744-1322

大田区

作家・内田康夫氏の人気ミステリー「名探偵・浅見光彦」シリーズ

主人公の浅見光彦は北区・西ケ原在住。作品には同所周辺がたびたび登場します。

所 北区西ケ原周辺
問 広報課　03-3908-1102

北区

「銭形平次」平次の碑

神田明神界隈を舞台に平次親分の活躍を描いた野村胡堂の名作『銭形平次捕物控』。神田明神には、日本作家クラブが建立した碑があります。

所 千代田区外神田2-16-2 神田明神
問 広報広聴課　03-5211-4172

千代田区

小説家、吉村昭氏初めての書き下ろし長篇小説「孤独な噴水」の舞台 荒川区

主人公のボクサーが京成線新三河島駅近くのガード下に住む設定。執筆にあたり、吉村氏も訪れました。

所 京成線 新三河駅周辺(荒川区西日暮里6丁目)
問 吉村昭記念文学館(ゆいの森あらかわ内)
03-3891-4349

荒川区

「猫の家」と呼ばれています(夏目漱石旧居跡)

文豪・夏目漱石の過ごした旧居は自身初の長編小説「吾輩は猫である」の舞台となりました。よく見ると塀の上に「猫」が!

所 文京区向丘2-20-7 日本医科大学同窓会館前
問 アカデミー推進課観光担当
03-5803-1174

文京区

アニメーション映画「バケモノの子」の舞台　渋谷

スクランブル交差点のほかセンター街、代々木公園、渋谷図書館が登場します。

所 スクランブル交差点 (渋谷区道玄坂2丁目)
問 広報コミュニケーション課
03-3463-1287

渋谷区

更生保護のルーツ　江戸幕府の「人足寄場」があった佃・石川島灯台跡

石川島(現・佃)には池波正太郎の時代小説「鬼平犯科帳」の主人公で知られる幕府役人・長谷川平蔵の進言により人足寄場が置かれていました。

所 中央区佃1-11-4 (佃公園内)
問 広報課　03-3546-5216

中央区

忠臣蔵の舞台「吉良邸跡(本所松坂町公園)」

忠臣蔵の舞台となった吉良上野介義央の上屋敷は、現在、本所松坂町公園として地域の方に親しまれています。

所 墨田区両国3-13-9
問 広報課報道担当　03-5608-6221

墨田区

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

クマなくさんぽ

荒川区

あらゆる世代に向けた新発想の複合施設

「ゆいの森あらかわ」開館！

3つの機能を樹木と本で表現した
ゆいの森あらかわロゴマーク

平成29年3月26日、荒川区立「ゆいの森あらかわ」がオープンしました。中央図書館と吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばの3つの機能が一体となり、乳幼児から高齢者まで、全ての世代の方が利用できる新しい魅力がいっぱいの施設です。

新しい発想の魅力ある複合施設

都内最大級の約60万冊の蔵書と約800席の座席を備えた『中央図書館』、荒川区出身で「戦艦武蔵」、「三陸海岸大津波」等で著名な作家・吉村昭氏を記念する『吉村昭記念文学館』、親子の安全な遊び場と小・中学生の居場所を提供する『ゆいの森子どもひろば』が一体となった施設です。地上5階建ての建物は、フロアの壁や間仕切りをなるべく少なくし、吹き抜けを通じて全階をつなぎ、全体的に融合された構造となっています。

ゆいの森あらかわ外観（イメージ）

災害発生時には防災拠点になります

もう一つ大切な要素が、防災拠点としての機能です。災害時には乳幼児の避難所として活用できるよう、乳幼児用に必要な備蓄品や発電機を準備しています。また、免震構造の採用、備蓄倉庫、下水道が機能しなくなった時の汚水用ピットなどを備えています。

発災直後からこころのケア等、さまざまな課題に沿った本を提供できるよう準備が進められています。

開放感のある「ゆいの森ホール」（イメージ）

吉村昭氏の書斎再現（イメージ）

■地域のコミュニティの拠点となる施設構成

1階には、大人から子どもまで誰もが楽しめる約3万冊の絵本を所蔵した「えほん館・おはなしの部屋」を中心に、コミュニケーションの場を設けました。イベントのない時は閲覧席等に活用できる絵本に囲まれた「ゆいの森ホール」、遊びを通じた発育を促す遊具を設置した「あそびラウンジ」、保育士が常駐し、子育て世代を支援する「託児室」なども設置されています。

2階には、体験キットやワークショップ等を提供し、子どもたちを遊びから学びへとつなげる「体験エリア」、小中学生の居場所となる「学びラウンジ」があります。

■書斎を体感できる「吉村昭記念文学館」

2階にある吉村昭記念文学館では、吉村昭氏の自宅の書斎が再現され、執筆の臨場感が演出されています。また、吉村氏の作品はもちろんですが、執筆に当たっての主な取材先や作品に登場する荒川区も紹介しています。紹介映像等の閲覧もでき、ミニ朗読会なども開催されます。

■荒川区の交流都市等関連資料を展示

荒川区の交流都市等から寄贈された地域資料を1階エントランスコーナーに展示しています。交流都市を紹介するコーナーは都内ではめずらしく、新たな観光情報の発見にもつながります。

「ゆいの森あらかわ」案内

所在地	荒川区荒川2-50-1 （最寄駅　都電荒川線「荒川二丁目」徒歩1分、東京メトロ千代田線・京成線「町屋駅」徒歩8分）
問合せ先	03-3891-4349
開館時間	午前9時30分～午後8時30分
休館日	第3木曜日、年末年始、特別整理期間

もっと活用しよう！

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

特別区（東京23区）を中心とする自治に関する資料を収集しており、蔵書数は約9万冊。特別区や行政について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

こんなことをしたよ

特別区全国連携プロジェクト 賛同自治体PR展示

東京23区から 全国市町村から 日本を元気に！

特別区全国連携プロジェクト～行ってみよう　あのまちへ～

滑川市・真狩村・名張市・赤穂市・津市・中標津町・志賀町

東京区政会館1階エントランスホールにて、特別区と特別区全国連携プロジェクト賛同自治体を紹介する展示を開催しました。

第1部（平成29年1月6日（金）～30日（月））では、富山県滑川市（なめりかわし）、北海道真狩村（まっかりむら）、三重県名張市（なばりし）の3自治体、第2部（平成29年2月1日（水）～23日（木））では、兵庫県赤穂市（あこうし）、三重県津市（つし）、北海道中標津町（なかしべつちょう）、石川県志賀町（しかまち）の4自治体を紹介しました。

会場では、紹介自治体の観光名所を写したタペストリーをはじめ、各市町村の概要や名産品、産業、観光等をパネル展示で紹介しました。

展示を通じて、各市町村の多様な魅力を紹介するとともに、特別区と各市町村の連携をPRしました。

第1部会場の様子

第2部会場の様子

名張市で保護活動を行うオオサンショウウオの模型

※「特別区全国連携プロジェクト」は、東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、特別区（東京23区）と全国の市町村が連携・交流事業を行う取組です。

特別区全国連携プロジェクトホームページ
http://collabo.tokyo-23city.or.jp/

これ、なんの数字??

特別区に関するトピックを数字から読み解いてみよう！

50.6%

この数字は、平成27年国勢調査における特別区の一般世帯における単独世帯の占める割合です。これまで調査ごとに増加してきた単独世帯の割合がついに過半数を突破しました。

●特別区における世帯状況の推移

（単位:人、%）

調査実施年	一般世帯数	単独世帯数	単独世帯の占める割合	1世帯当たり世帯人員
昭和50(1975)年	2,924,395	827,780	28.3	2.81
昭和60(1985)年	3,301,361	1,207,178	36.6	2.50
平成 7(1995)年	3,474,758	1,407,629	40.5	2.26
平成17(2005)年	4,024,884	1,825,789	45.4	2.05
平成22(2010)年	4,531,864	2,223,510	49.1	1.95
平成27(2015)年	4,793,594	2,424,966	50.6	1.91

出典：特別区統計情報システムより算出

1世帯当たり世帯人員に目を向けると、平成22年の調査ではじめて2人を割り込み、今回は1.91人となりさらに世帯の小規模化が進行しました。

区別に見てみると、単独世帯の割合は、新宿区が64.8%で最も高くなっており、他にも3区（渋谷区、中野区、豊島区）が60%を超えています。1世帯当たり世帯人員が最も多いのは、江戸川区の2.19人で、他にも5区（江東区、荒川区、練馬区、足立区、葛飾区）が2人以上となっています。

また、特別区全体の単独世帯における65歳以上の単独世帯の割合が22.2%となっており、高齢者の社会的孤立を防ぐためにも地域コミュニティの再構築、退職した高齢者が活躍できる地域づくり等、地域の事情に見合った地域づくりが求められます。

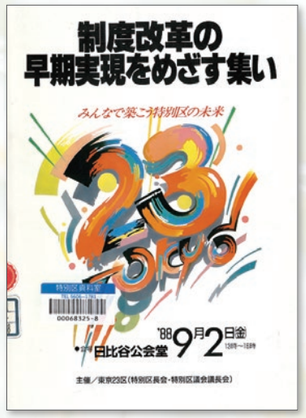
こんなものがあるよ

所蔵資料蔵出し

特別区に関する資料から読み解いてみよう！

制度改革をめざす 2,000人の集い

今回は、特別区協議会発行の「制度改革の早期実現をめざす集い～みんなで築こう特別区の未来」（昭和63（1988）年12月発行）を、特別区（東京23区）の半世紀に及ぶ自治権拡充の歴史とともに紹介します。



この冊子は昭和63（1988）年に行われたシンポジウムの記録です。このシンポジウムの趣旨を知るために、特別区の自治権拡充の歴史を少し振り返ってみましょう。

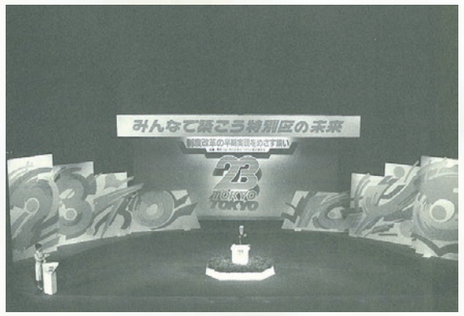
特別区は戦後まもなく、市町村と同じ基礎的な自治体として出発しましたが、実際には多くの事務権限が東京都に残されていたため、自治権拡充のための運動が展開されることになります。昭和27（1952）年の地方自治法改正では、特別区は東京都の「内部団体」とされ、住民が区長を選挙で選ぶという区長公選制も廃止されるなど、自治権の後退を経験しました。その後も、特別区は自治権拡充運動を展開し、区長公選制の復活をはじめ、数度の改革が行われました。しかし、本書が発行された昭和63（1988）年、特別区の誕生から40年が過ぎてもなお、基礎的な自治体としては認められず、東京都の内部団体の位置づけのままでした。

そのような中で、特別区が名実ともに基礎的な自治体としての位置づけを得るため、また、改革の気運をさらに盛り上げていくために開催されたシンポジウムで、2,000人もの参加者が集まりました。

本書は、シンポジウムで行われた座談会の記録を中心とした内容となっています。座談会は、制度改革を進める必要性について日常のくらしに合わせて、身近なごみ問題・高齢化・税金の話題などの複数の観点からの分かりやすい談論となっています。加えて、この改革は「区民が支える運動でなければいけない」、そのためには「改革の必要性をもっと住民に周知していかねばならない」との内容もあり、住民からの理解・協力の必要性にも言及しています。また、この集いの大会決議の内容や、住民代表決意表明も掲載されており、そこからは制度改革への強い思いが感じられます。

巻末には、参考資料として当時の全国紙に掲載された記事が集録され、大々的に行われたシンポジウムであったことも伺い知れます。また、特別区の自治のあゆみをまとめた年表、制度改革の具体的手順に関する資料など、記録を読む際の参考になる資料も集録されています。

こうした熱心な運動と長い年月をかけ、特別区はようやく平成12（2000）年に市町村と同じ「基礎的な自治体」として位置付けられ、現在に至ります。



とくべつクマ特別調査

23区の 1(ワン)・2(ツー)・3(スリー)

書店に行くと、本や雑誌の新刊がたくさん並んでいるね。これらを出版している事業所が多い区はどこだろう。調べてみたよ。

23区の 出版業事業所数ランキング※

1位 千代田区／583か所

2位 新宿区／373か所

3位 文京区／342か所

※ 出典：平成26年経済センサス　基礎調査（平成26年7月1日実施）
出版業事業所とは、主として書籍、教科書、辞典、パンフレット、雑誌、定期刊行物などの出版を行う事業所をいう。

出版産業が数多く集まる千代田区は、こうした地域性をもとに地域に根ざした図書館運営を行っています。出版に関するさまざまな資料を集めている千代田区立千代田図書館でお話を伺ってきました。

「あなたのセカンドオフィスに もう一つの書斎に」

千代田区内には企業や学校などが多くあり、区内の昼間人口は80万人を超えています（平成22年国勢調査）。千代田図書館では「あなたのセカンドオフィスに もう一つの書斎に」をコンセプトに、千代田区民をはじめ、区内在勤・在学の方々の利便性向上を目指し、オンラインデータベースが無料で使える情報検索コーナーやLAN環境を整備し、また調査研究に役立つビジネス書を多くとりそろえています。

平日は午後10時まで開館しているのも特徴で、午後6時以降は社会人や学生が仕事や資格等の勉強のために多く利用しているそうです。

ビジネスに役立つ資料を揃えた「調査研究ゾーン」

千代田区の地域産業「出版業」

“出版”に関する資料を集めたコーナー「出版にまつわる本棚」を設け、出版史や出版社の社史、出版社PR誌などの図書を配架しているのも千代田図書館ならではの取組です。研究者はもちろん近隣の出版社勤務の方の情報収集に役立ててもらうだけではなく、一般利用者の方々に千代田区の地域産業である“出版”を知っていただくことにつなげているそうです。

出版社のPR誌が充実

図書館での展示事業

■展示ウォールでの企画展示

出版社との連携展示や千代田区に関連するテーマで企画展示が行われ、毎回100～300冊の展示関連図書が並びます。

平成29年4月22日までは「検閲官－戦前の出版検閲を担った人々の仕事と横顔」を開催。戦前の出版検閲に用いられた同館所蔵の「内務省委託本」を中心に、その実態が見えつつある内務省検閲官の仕事や横顔が紹介されます。

展示ウォール

■出張古書店コーナー「としょかんのこしょてん」

神田古書店連盟と連携し、各古書店の特徴ある資料を展示しています。古書の購入案内も行っています。

「としょかんのこしょてん」コーナー

ここも おすすめ スポット

●神田神保町古書店街

「古本を探す」と言ったらこの古書店街。

各専門分野を持つ古書店が千代田区神田神保町エリアに並んでいます。古書店数は150を超えています。

「千代田図書館」案内

所在地	千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F （最寄駅　東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」4番または6番出口から徒歩5分）
電話	03-5211-4289・4290
開館時間	午前10時～午後10時（月～金曜日） 午前10時～午後7時　（土曜日） 午前10時～午後5時　（日曜日、祝・休日、12月29日～31日）
休館日	第4日曜日、1月1日～3日、特別整理期間

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。
※講座や企画の詳細は（公財）特別区協議会ホームページ（HP）をご覧ください。

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間　平日：9:00～20:30　土曜日：9:00～17:00　日曜日・祝日：休館

（公財）特別区協議会 HP　http://www.tokyo-23city.or.jp/

（公社）東京都歯科衛生士会 紹介展示「笑顔発信!! お口の健康があなたにHappyを運びます」	**共　催**（公社）東京都歯科衛生士会 （公財）特別区協議会 **展示期間** 平成29年5月12日(金)～6月22日(木)(予定)

■特別区自治情報・交流センターブックレット第4号「自治体間連携の可能性を探る」発行

自治体間連携をご存知でしょうか。

特別区をはじめ、全国の各自治体で防災・観光・産業など多くの分野で自治体間の連携が進められています。

第4号は、自治体間連携をテーマに特別区協議会が開催した講演会と東京23区・特別区長会が開催した第1回全国連携シンポジウムのパネルディスカッションの内容を冊子にまとめています。

冊子からは自治体間連携の動向や課題などを知ることができます。

本冊子は、特別区自治情報・交流センターで販売しています。また、特別区協議会ホームページでもご覧いただけます。

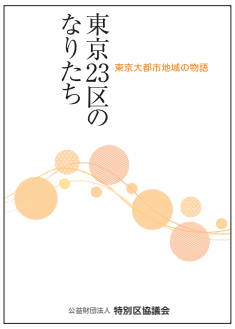
HP　http://www.tokyo-23city.or.jp/publish/seido_kanren/booklet.html

平成29年1月発行（定価:725円+税）

■東京大都市地域の物語「東京23区のなりたち」発行

東京23区（特別区）の自治のあゆみを時代を追いながらたどる「東京大都市地域の物語」シリーズを発行しました。

シリーズ1冊目では、明治初期の「区」のはじまりから、戦後「特別区」が誕生するまでの物語を見ていきます。



本冊子には、昭和7（1932）年頃の珍しい区庁舎の写真も掲載しました。

特別区自治情報・交流センターで配布していますので、ぜひご覧ください。

平成29年2月発行（無料）

特別区自治情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
開館時間：（4階）9:30～20:30（土曜日は9:30～17:00）
休 館 日：日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
http://www.research.tokyo-23city.or.jp/

東京メトロ 東西線　「飯田橋駅」A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線・南北線　「飯田橋駅」A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線　「飯田橋駅」A2出口徒歩2分
JR 中央線・総武線　「飯田橋駅」東口徒歩5分

編集後記

絵本を開きたくなるとき、皆さんもそんなときがありませんか。シンプルな文章、物語展開に触れて、心がふっと軽くなったり、思わずふきだしてしまったり。子どもの頃ただ楽しい、悲しいと感じた物語の違った側面が見えてくるのも、大人になった今だからでしょう。

今号で紹介しました「ゆいの森あらかわ」では、あらゆる世代に向けた絵本を取り揃えています。ぜひ、皆さんも絵本を開き、新しい物語に出会ってください。（永）

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター　http://www.tokyo-23city.or.jp/
特別区協議会は特別区（東京23区）の自治の発展を目的として設立された公益財団法人です。
「One23（ワンツースリー）」（春 vol.28）　2017年 4月1日発行
発行 / （公財）特別区協議会 事業部　企画編集・デザイン・印刷 / （株）第一印刷所
〒102-0072　千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
Tel. 03-5210-9912